

## 4 再配置計画の推進に向けて

4-1 進捗管理（PDCA）について .....	140
4-2 推進体制 .....	141

## 4-1 進捗管理（PDCA）について

本計画を適正に実行し、公共施設の総量適正化を進めていくためには、本計画の進捗状況を検証し、進捗管理を徹底することにより、公共施設再配置の実効性を担保していく必要があります。このためには、早急に進捗管理のシステムを構築し、総量の適正化で掲げた目標を確実に達成する仕組みを整えなければなりません。

### (1) 進捗管理の方法

今後、本計画に基づき、個々の公共施設を更新や集約化など、具体的に再配置を進めていくことになりますが、PDCA サイクル\*の考え方に沿って、施設所管部署と資産経営室が連携しながら、定期的に進捗状況や再配置効果を検証し、本計画を適正に進行するとともに、より効果的な推進を図るため、必要に応じて本計画の見直しや個々の公共施設の改善策の検討などを行い、総量適正化で掲げた目標の達成に取り組みます。

### (2) 計画の見直し

総合管理計画で掲げた総量の適正化を達成するため、施設所管部署が本計画に基づき策定する各施設計画の進捗状況も踏まえ、本計画を定期的に検証するとともに、将来の需要や社会情勢に対応しながら見直しを図ります。

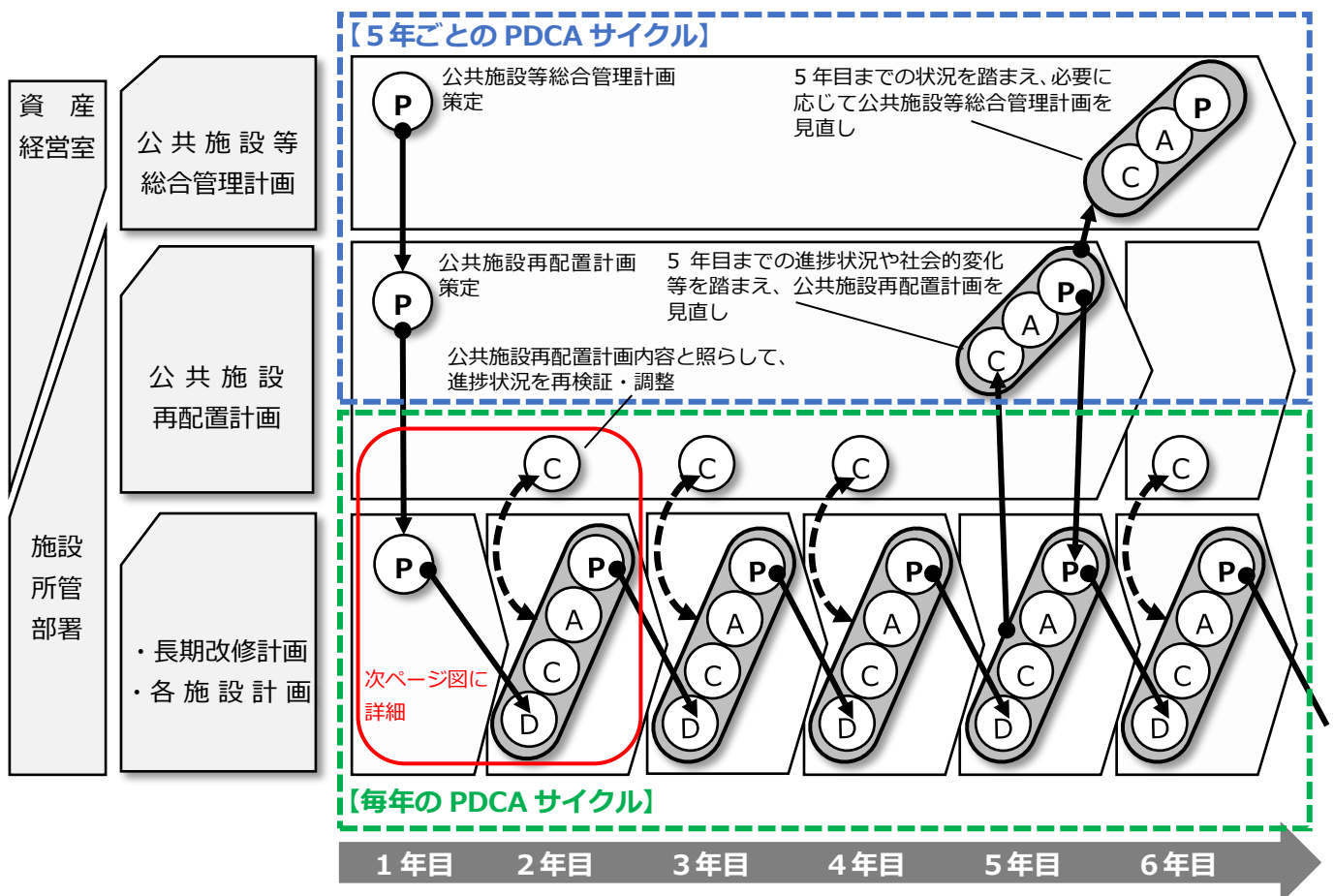


図 4-1 PDCA サイクルの全体イメージ図（毎年・5年ごとのサイクル）

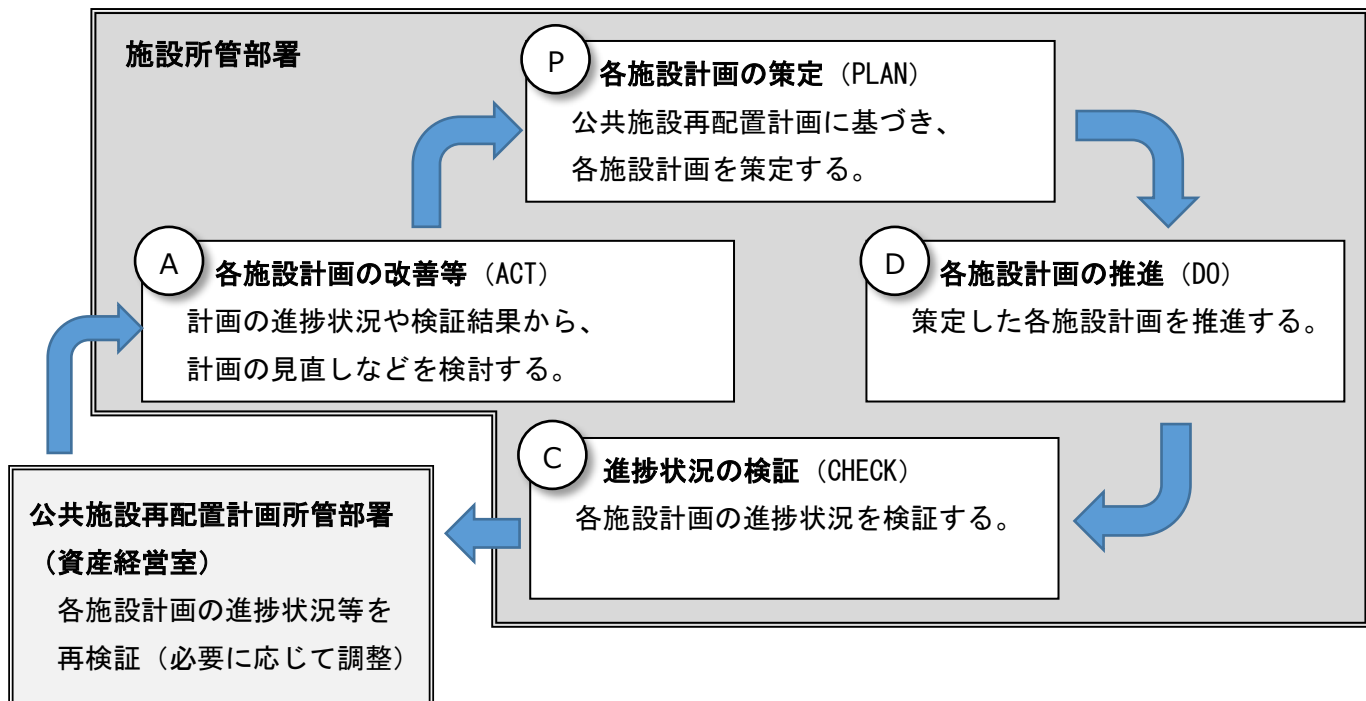


図 4-2 施設所管部署の PDCA サイクルイメージ図

## 4-2 推進体制

今後、本計画の策定時に整備した、固定資産台帳\*や施設データを活用し、維持管理に必要な情報の把握、分析を行うとともに、的確に行政ニーズを把握し、具体的な公共施設の更新や集約化などの準備・検討を行いながら、公共施設再配置時の費用計算をしていく必要があります。

しかし、本市では、施設の修繕など維持管理に係る考え方が統一されておらず、各公共施設を維持管理している施設所管部署同士の横断的な情報共有や調整も密に行われていないことから、修繕や改修等の対応が施設によって異なることもあるほか、一部の施設所管部署を除き、建築関連のノウハウが無いため、公共施設の整備や管理を行うには、建築関連の部署との連携が不可欠など、総合的かつ計画的な公共施設マネジメントの推進にはいくつかの課題があります。

これらの課題を解決し、公共施設再配置を効率的に実施していくために、これまで施設所管部署ごとに実施してきた公共施設の整備や管理について、横断的に連携・調整、情報共有等を図るとともに、建築関連のノウハウを持っている都市整備部署との連携強化を図るなど、全庁的な視点からみた仕組みを整えることにより、様々な業務の効率化による経費削減及び公共施設の適切な再配置を目指します。

また、本計画を確実に実行していくために、総合計画や都市計画マスタープランなどの関連性のある計画とも相互に連携していきます。

■推進に向けた役割分担（案）

①公共施設再配置計画所管部署（資産経営室）

- ・情報の一元管理・共有化
- ・総合管理計画及び公共施設再配置計画の推進及び進行管理、見直し
- ・総合管理計画及び公共施設再配置計画に係る総合調整

②施設所管部署

- ・公共施設再配置計画に基づき、所管施設の維持管理・運営の推進
- ・各施設計画の作成、見直し検討

③都市整備部署

- ・横断的な連絡調整での指導・助言
- ・施設所管部署に対する建築関連の情報提供・相談対応等の連携
- ・所管する計画と公共施設再配置計画との連携

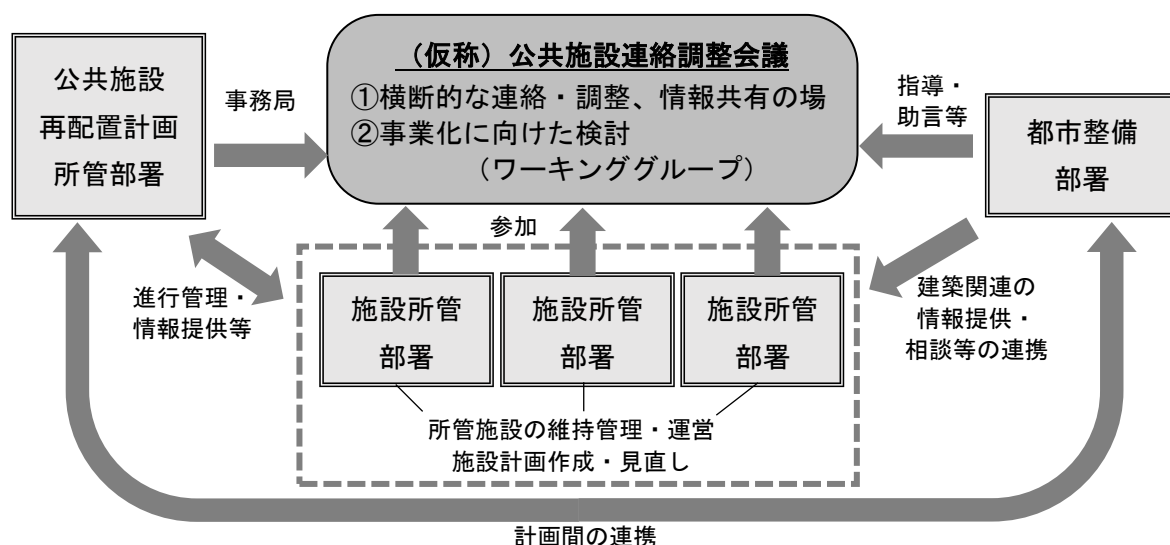


図 4-3 庁内体制図